



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 Oakキャピタル株式会社
 コード番号 3113 URL <http://www.oakcapital.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 竹井 博康
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理財務部長 (氏名) 秋田 勉 TEL 03-5412-7474
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,149	33.1	1,250	458.5	1,225	—	1,039	—
29年3月期第1四半期	2,365	—	223	—	82	—	83	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,587百万円 (894.0%) 29年3月期第1四半期 159百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	19.37	—
29年3月期第1四半期	1.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,911	9,384	94.7
29年3月期	8,362	8,065	96.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 9,384百万円 29年3月期 8,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

当社の事業特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な予想が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	53,675,037株	29年3月期	53,675,037株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	34,505株	29年3月期	33,997株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	53,640,817株	29年3月期1Q	53,642,254株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
特記すべき事項はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2017年4月1日から2017年6月30日まで)の個別業績は、営業収入(売上高)31億49百万円(前年同期比33.1%増)、営業利益12億50百万円(前年同期比458.5%増)、経常利益12億51百万円(前年同期比1,259.0%増)、四半期純利益10億65百万円(前年同期比1,050.7%増)となり、連結業績は、営業収入(売上高)31億49百万円(前年同期比33.1%増)、営業利益12億50百万円(前年同期比458.5%増)、経常利益12億25百万円(前年同期比1,384.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益10億39百万円(前年同期比1,151.8%増)となりました。

当第1四半期の業績については、成長支援投資先企業の業績向上など事業の進捗が株式市場で評価を得たことにより、キャピタルゲインが増加し大幅な増収増益となりましたが、当社の事業特性上、投資回収の時期や金融市場の動向により短期間で業績が大きく変動することから、四半期での経営成績の比較分析は難しい面があります。

(投資銀行業務の状況)

当社は、新興株式市場に上場する企業及び中小型株上場企業を中心に、企業価値向上を担う投資銀行として、財務支援及び成長戦略の後押し並びに事業創出支援に取り組んでおります。

投資先企業の事業環境や事業特性により、各々の成長戦略や事業戦略の成果を得るまで時間を要することもあり、当社は中長期の視点で投資先企業の支援をおこなっております。

当第1四半期間の投資銀行業務におきましては、前期に引き続き投資先企業に対し、成長戦略の立案、M&Aの助言、IR支援など様々な支援に注力し一定の成果をあげることができました。

IR支援では、4月に成長戦略支援における提携先である株式会社電通との協業により、株式会社東洋経済新報社と共催によるIRフォーラムを開催し、株式会社ピクセラ(東証2部6731)・株式会社ホットリンク(東証マザーズ3680)・ウインテスト株式会社(東証2部6721)・株式会社アエリア(東証JQS3758)・パス株式会社(東証マザーズ3840)・ソースネクスト株式会社(東証1部4344)・レカム株式会社(東証JQS3323)・株式会社ソフトフロントホールディングス(東証JQG2321)・株式会社日本創発グループ(東証JQS7814)の当社投資先企業を中心とした9社が参加し、機関投資家や個人投資家とのIRコミュニケーションの機会を創出しました。

その結果、本フォーラム参加企業9社の当第1四半期間の株価推移は平均上昇率61%となり、一定の評価を得ることができました。

(投資分野の多角化)

当社の業績は順調に推移しておりますが、成長し続ける投資銀行を目指し、投資分野の多角化に取り組んでおります。従来の上場企業向け支援投資に加え、事業会社の出資・買収、海外投資の拡大、国内外のブランド企業への投資などの事業投資分野を拡大することにより、株式投資によるキャピタルゲインと事業投資の収益構造を目指しております。

引き続き当社の経営戦略である成長力・収益力・安定力を強固にし、「企業価値」と「株主価値」をさらに高めてまいります。

・重要経営指標

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
営業利益(千円)	223,850	1,250,272	955,500
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益(千円)	83,011	1,039,141	885,799
総資産(千円)	7,914,546	9,911,185	8,362,633
純資産(千円)	7,636,955	9,384,461	8,065,280
投資収益率(%)	21.69	98.61	27.22
自己資本比率(%)	96.34	94.69	96.44
ROE(%)	1.07	11.91	11.11
ROA(%)	1.03	11.37	10.74

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	1.55	19.37	16.51
1株当たり配当額(円)	—	—	5.00
従業員1人当たり営業利益(千円)	11,781	59,536	45,500
従業員数(人)	19	21	21

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産につきましては、前期末と比べ、15億48百万円増加し99億11百万円となりました。増加した主な要因は、当社の企業価値向上の取り組みが株式市場で一定の評価を受けたことなどにより、当社が保有する上場株式の時価評価額が増大したことによる営業投資有価証券の増加などによるものであります。負債につきましては、前期末と比べ、2億29百万円増加し5億26百万円となりました。増加した主な要因は、未払法人税等の増加によるものであります。純資産につきましては、前期末と比べ、13億19百万円増加し93億84百万円となりました。増加した主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の事業特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めてまいります。

また、通期業績におきましては増収増益を目指し、配当性向30%の向上など、株主還元の充実に取り組み、株主価値向上に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,745,444	4,963,532
売掛金	61,078	368,674
営業投資有価証券	1,476,555	2,354,060
短期貸付金	190,000	190,000
その他	77,299	84,525
貸倒引当金	△73,023	△73,023
流動資産合計	6,477,355	7,887,769
固定資産		
有形固定資産	105,027	256,054
無形固定資産	3,226	3,075
投資その他の資産		
投資有価証券	1,258,163	1,196,542
関係会社長期貸付金	154,543	205,190
投資不動産	313,545	313,545
その他	42,217	42,594
投資その他の資産合計	1,768,470	1,757,872
固定資産合計	1,876,723	2,017,003
繰延資産	8,553	6,413
資産合計	8,362,633	9,911,185
負債の部		
流動負債		
未払金	27,642	145,746
未払法人税等	25,960	215,896
その他	150,686	66,092
流動負債合計	204,289	427,735
固定負債		
退職給付に係る負債	77,836	83,211
その他	15,225	15,776
固定負債合計	93,062	98,988
負債合計	297,352	526,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,282,010	4,282,010
資本剰余金	3,206,468	3,206,468
利益剰余金	1,265,425	2,036,362
自己株式	△12,534	△12,631
株主資本合計	8,741,370	9,512,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△666,908	△121,030
為替換算調整勘定	△9,180	△6,717
その他の包括利益累計額合計	△676,089	△127,748
純資産合計	8,065,280	9,384,461
負債純資産合計	8,362,633	9,911,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上高	2,365,535	3,149,303
売上原価	1,939,819	1,587,486
売上総利益	425,716	1,561,817
販売費及び一般管理費	201,866	311,545
営業利益	223,850	1,250,272
営業外収益		
受取利息	2,374	2,748
貸倒引当金戻入額	1,000	—
その他	999	443
営業外収益合計	4,374	3,191
営業外費用		
支払利息	—	12
持分法による投資損失	6,908	22,435
株式交付費償却	781	637
社債発行費等償却	1,502	1,502
為替差損	136,519	3,632
営業外費用合計	145,711	28,221
経常利益	82,513	1,225,242
特別損失		
固定資産売却損	202	0
特別損失合計	202	0
税金等調整前四半期純利益	82,310	1,225,242
法人税、住民税及び事業税	302	186,101
法人税等調整額	△1,004	△0
法人税等合計	△701	186,100
四半期純利益	83,011	1,039,141
親会社株主に帰属する四半期純利益	83,011	1,039,141

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	83,011	1,039,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,935	545,878
為替換算調整勘定	83,625	44,137
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△41,675
その他の包括利益合計	76,690	548,340
四半期包括利益	159,702	1,587,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,702	1,587,482

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は投資銀行の単一セグメントであるため、記載を省略しております。